

# 浴室用ビニル床シート『バスナシリーズ』の施工

## (バスナリアルデザイン・バスナフローレ・バスナアルティ)

浴室のように頻繁に水を使用する場所では、床材の裏面や下地に水分が回り込むと、様々な悪い影響を及ぼす可能性があります。継目処理や端部処理を確実にを行い、裏面に水が回り込まない施工をする必要があります。

### 施工条件

- モルタル・コンクリート、磁器タイル、ユニットバス（樹脂）下地への施工が可能です。石材等は種類により判断の必要があります。東リ営業所までお問合わせください。
- バスナシリーズは躯体への漏水を防ぐことを目的とした防水シートではありません。漏水が無いことを確認してから施工してください。漏水がある場合は必ず補修を行ってください。補修有無の判断は防水専門の業者様にお願いしてください。
- 在来工法浴室では下地は排水溝に向かいなだらかな水勾配をモルタル、コンクリートで1/100～3/100に仕上げてください。FRP樹脂下地（システムバス）等で勾配が取れていない場合は浴室専用の工事業者様にご相談をお願いします。水はけ性能は水勾配により変わります。窪みなどがあると水溜りができ、「ぬめり」が発生し滑りの原因にもなりますのでご注意ください。
- 磁器タイル下地の場合は老朽化して剥がれている、目地部分に白い付着物（カルシウム等）があるなどの下地に問題があるケースでは下地処理が必要です。浴室専用の工事業者様にご相談をお願いします。
- 磁器タイル下地の場合、タイル目地などの下地の凹凸の深さが1mm以上もしくは、凹凸の間隔が10mm以上の場合はクイックレベラーを用いて下地補修を行ってください。なお、磁器タイル上についた補修剤は拭取るかケレン用具等で取除きます。
- ユニットバス（樹脂）下地の場合、タイル目地などの下地の凹凸の深さが1mm以上もしくは、凹凸の間隔が10mm以上の場合はバスナパテEPOを用いて下地補修を行ってください。
- 下地の凹凸が大きい等、下地補修が困難な場合は下地材を剥離し、モルタル・コンクリートを打ち直していただくか、グラインダー等で削り、平滑に仕上げてください。
- 施工の際は専用接着剤（バスナセメントEPO）、専用両面テープ（バスナテープ）及び、専用端部処理剤（バスナシールSS）を使用しシート裏面に水が回らないよう仕上げてください。
- バスナリアルデザイン、バスナフローレ、バスナアルティは柄合わせができません。ご了承ください。

### 接着剤工法（バスナセメントEPO）の場合

#### 1 下地の確認

下地勾配が排水溝に向かい1/100～3/100程度のなだらかな勾配があることを確認してください。勾配が充分でないと水はけ性能低下の原因になります。

##### モルタル・コンクリート下地

- 下地湿気は、「高周波水分計 HI-520-2型 (D.MODE) 620未滿」を条件とします。
- 凹凸は、ケレン用具や下地補修材（クイックレベラー等）で補修します。

##### 磁器タイル下地

- タイル目地などの下地の凹凸の深さが1mm以上もしくは、凹凸の間隔が10mm以上の場合はクイックレベラーを用いて下地補修を行ってください。なお、磁器タイル上についた補修剤は拭取るかケレン用具等で取除きます。

##### ユニットバス（樹脂）下地

- タイル目地などの下地の凹凸の深さが1mm以上もしくは、凹凸の間隔が10mm以上の場合はバスナパテEPOを用いて下地補修を行ってください。

#### 2 材料納入・仮敷

仮敷をして、巻き癖等を取ります。

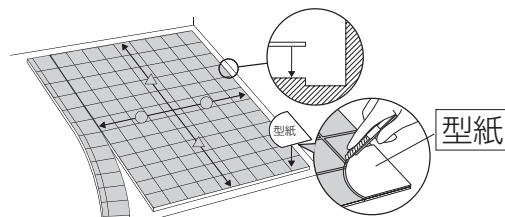
※巻き癖等を取りやすくする為にできるだけ10℃以上の場所で仮敷してください。

#### 3 下地の清掃

下地のゴミ、ホコリ、皮脂汚れ、水アカ、石鹸カス等を除去します。除去が不完全な場合は接着不良の原因となりますのでご注意ください。

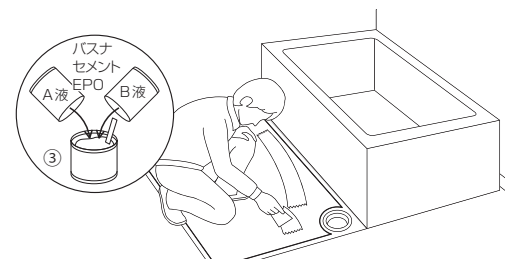
#### 4 割付け・シートをカット

- ①シートを貼る範囲を決め、中心より割付けます。中心点より前後左右を均等な長さにします。
- ②シートの貼付位置にエンピツ等で基準線を入れておきます。
- ③メジャーで採寸し、定規で正確にカットします。
- ④排水口など曲線部分は型紙を取り、型紙を元にカットします。  
※シートはあらかじめ仮敷きを行い、充分に巻き癖を取除いてください。



#### 5 接着剤を塗布

- ①下地補修材が乾燥したことを確認し、ケレン用具やサンドペーパー等で下地補修材を平滑にします。
- ②ゴミ、ホコリ等を取除き、きれいに清掃します。
- ③使用方法にしたがって「バスナセメントEPO」のA液・B液を等量混合します。
- ④くしばけを使用し速やかに塗布してください。

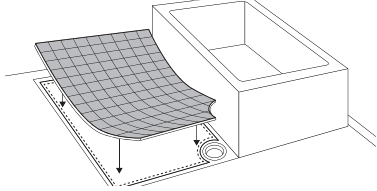


#### ！ 注意

10℃以下の環境では硬化不良となりますので、空調等で室温を上げて施工してください。

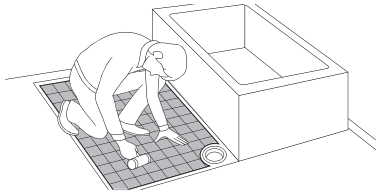
## 6 シートの貼付け

- ①適切な待ち時間(約20分)をとってください。  
貼付可能時間は以下が目安です。  
夏季 20~60分 冬季 20~120分
- ②シートに巻き癖が残っている場合は、裏巻きにする等して十分に巻き癖を取除いてください。
- ③基準線に合わせてシートを貼付けてください。



## 7 圧着

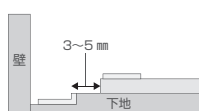
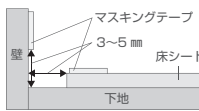
- ハンドローラーでしっかり圧着します。  
※巻き癖が取れなかった場合、部分的に浮きが発生することがあります。その場合はライスター、ドライヤー等の熱風でシートをやわらかくした上で再度圧着してください。



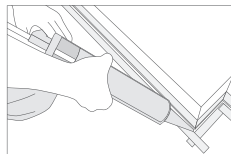
## 8 端部処理

- ①貼付けた床シートの周囲に3~5mm程度の隙間を空けてマスキングテープを貼ります。

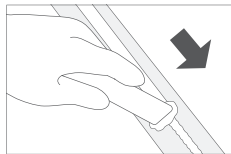
- シートを壁際まで施工する場合
- 壁際に排水溝がある場合



- ②コーキングガンを用いてバスナシールSSを充填します。

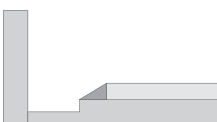
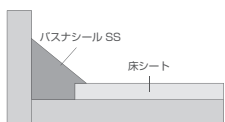


- ③バスナシールSS用ヘラを使いシールを掻き取った後、マスキングテープをすべて剥がします。



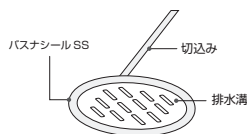
## 仕上りのイメージ

- シートを壁際まで施工する場合
- 壁際に排水溝がある場合

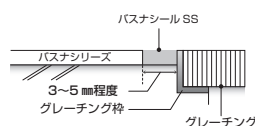


## 排水溝とグレーチングまわりの納まりについて

水勾配の大きな排水溝まわりは、切込みを入れるなどして処理してください。切込み部分は、継ぎ目または端部と同じ処理を行ってください。



グレーチングでは、金属部分の3~5mm手前で切込み、その隙間にシール剤を充填してください。



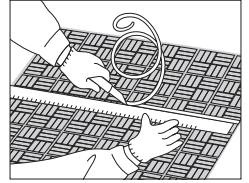
※ 継目処理が必要な場合

## 熱風溶接工法による継目処理

専用溶接棒を使用します。

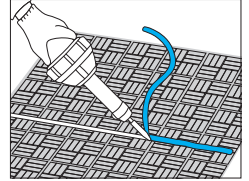
### 1 カット

接着剤が十分に硬化した後、目地部分を溝切り機か溝切りカッターでUまたはVカットします。



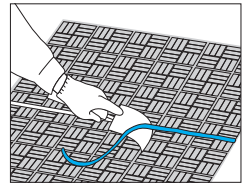
### 2 熱風溶接

バスナ専用溶接棒を熱風溶接します。



### 3 余剰部分カット

スパトラナイフ等を用いて余剰部分をカットします。

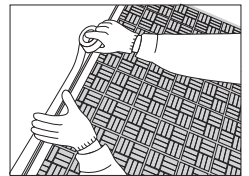


## バスナシール SS による継目・端部処理

専用シール剤(バスナシールSS)を使用します。

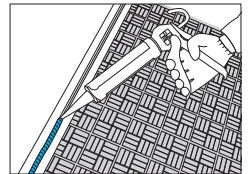
### 1 マスキング

シールする周辺を汚さないように、マスキングテープを貼ります。塗布表面のゴミ、ホコリ等を除去し、水分のないことを確認します。



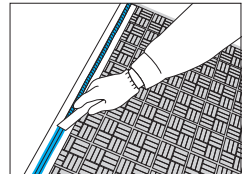
### 2 充填

カートリッジの先端部をカットし、防湿膜に穴をあけてからコーキングガンにセットし、シート継目・端部に充填します。



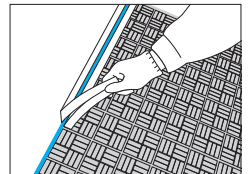
### 3 平滑にする

充填後、すぐに仕上げ用のヘラで表面を平滑に仕上げます。



### 4 マスキングテープの除去、養生

表面を仕上げた後、すぐにマスキングテープを取除き、一晚養生します。その後入浴は可能ですが、シール剤が完全に硬化するまでには2~3日かかります。



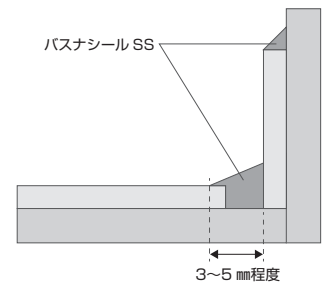
### ! 注意

※シール剤が完全に硬化するまでは、キャストの使用やブラシ等での清掃はお避けください。

## 立上げ施工

浴室の床面は水捌け性の為に勾配が設けられています。大きな勾配がある浴室は、立上げ部がきれいに収まらない場合がありますのでご注意ください。また、勾配により立上げ面の模様は斜めに仕上がります。

シートを帯状にカットし、床と壁を別々に施工する方法もあります。この場合は右図のように床面と壁面の間に3~5mm程度の隙間を空けて、バスナシールSSで処理してください。



## テープ工法 (バスナテープ) の場合

### 1 下地の確認

下地勾配が排水溝に向かい1/100~3/100程度の**なだらかな勾配があることを確認してください**。勾配が充分でないと水はけ性低下の原因になります。

#### 磁器タイル下地・ユニットバス (樹脂) 下地

- タイル目地などの下地の凹凸の深さが1mm以上もしくは、凹凸の間隔が10mm以上の場合は、必ずバスナパテEPOを用いて下地補修を行ってください。石膏系やセメント系の下地補修材は使えません。

#### モルタル・コンクリート下地

- バスナテープによる施工は、モルタル・コンクリート下地では行えません。

### 2 材料納入・仮敷

仮敷をして、巻き癖等を取ります。

※巻き癖等を取りやすくするためにできるだけ10℃以上の場所で仮敷きしてください。

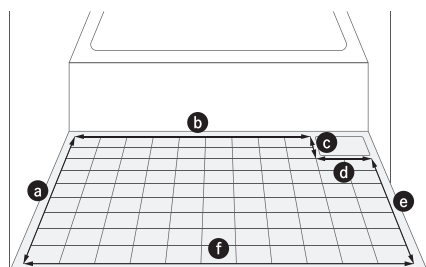
### 3 下地の清掃

下地のゴミ、ホコリ、皮脂汚れ、水アカ、石鹸カス等を除去します。除去が不完全な場合は接着不良の原因となりますのでご注意ください。

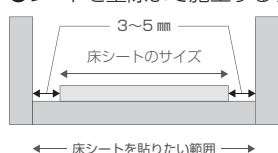
### 4 割付け・シートのカット

①床シートを貼る範囲を決め、メジャー等で採寸します。

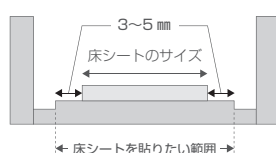
※床シートの端部は最後にバスナシールSSでシール処理を行うため、下図のように各辺、貼りたい範囲よりも3~5mm程度小さくなるように採寸してください。



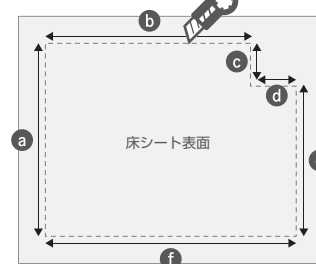
#### ●シートを壁際まで施工する場合



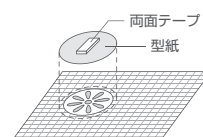
#### ●壁際に排水溝がある場合



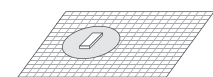
②寸法通りに床シートをカットします。



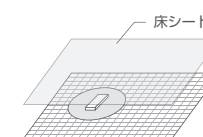
排水溝などが床面の中心にある場合



排水溝より半径が3~5mm大きい型紙をつくり、上面に両面テープを貼ります。



両面テープの剥離紙を剥がし、型紙を排水溝の位置に置きます。



床シートを貼付け位置に仮置きし、型紙を床シートに貼付けます。



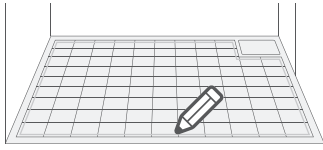
床シートを裏返し、型紙に沿ってカットします。

③カットしたシートの周囲にマスキングテープを貼付けます。

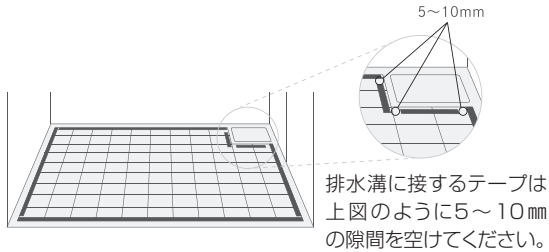


## 5 シートの貼付け、圧着

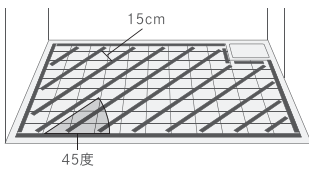
- ①下地のゴミ、ホコリを取除きます。
- ②カットした床シートを下地の上に仮置きし、貼付ける場所に鉛筆等でしるしを入れます。



- ③下地に描いたしるしに沿ってバスナテープを貼ります。



- ④周囲に貼ったバスナテープの内側に斜め(45度程度)に15cm間隔でバスナテープを貼ります。

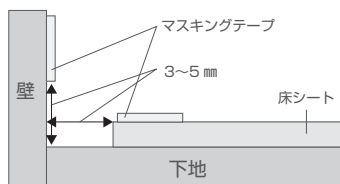


- ⑤床面に貼付けたバスナテープの剥離紙を剥がし、床シートを貼付けて「圧着」します。

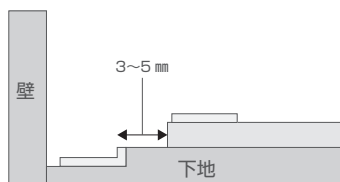
## 6 端部処理

- ①貼付けた床シートの周囲に3~5mm程度の間隔を空けてマスキングテープを貼ります。

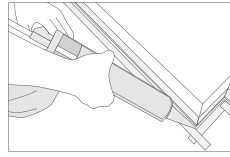
- シートを壁際まで施工する場合



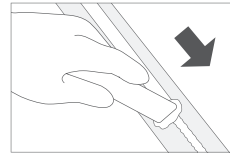
- 壁際に排水溝がある場合



- ②コーキングガンを用いてバスナシールSSを充填します。

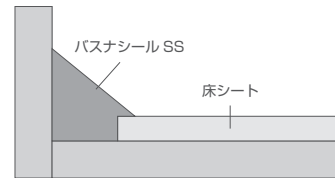


- ③バスナシールSS用ヘラを使いシールを掻き取った後、マスキングテープをすべて剥がします。

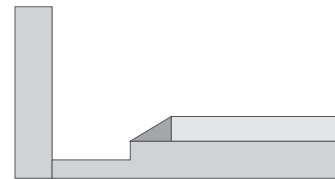


## 仕上がりイメージ

- シートを壁際まで施工する場合

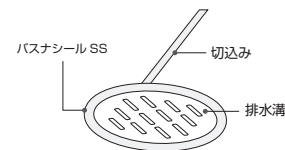


- 壁際に排水溝がある場合



## 排水溝とグレーチングまわりの納まりについて

水勾配の大きな排水溝まわりは、切込みを入れるなどして処理してください。切込み部分は、継ぎ目または端部と同じ処理を行ってください。



グレーチングでは、金属部分の3~5mm手前で切込み、その隙間にシール剤を充填してください。

